

経済指標ウォッチャー

# 米ISM製造業景況感指数 6カ月連続の50超え

新規受注を中心に生産活動は依然として好調

## ISM製造業景況感指数とは？

全米供給管理協会（ISM）が製造業の購買担当者へのアンケート調査結果をもとに、毎月公表している米国の製造業の景況感を示す指標のひとつ。米国の主要指標の中で最も早い毎月第1営業日に発表され、景気先行指数として非常に注目度が高い。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

## 2020年12月は市場予想を下回ったが50超え

全米供給管理協会（ISM）が12月1日に発表した、2020年11月の製造業景況感指数は、57.5と前月の59.3から1.8ポイント低下しました（図表1）。事前予想（58.0）を下回ったものの、6カ月連続で好況・不況の節目である50を超えています。改善ペースは鈍化しましたが、新型コロナウイルス感染拡大前の水準を大きく上回っています。

## 新規受注と生産は低下したものの高水準

主な構成指数では、新規受注が65.1（前月比-2.8）、生産が60.8（同-2.2）と前月より低下したものの50を大きく上回る水準となっており、生産活動が引き続き好調であることを示唆しています（図表2）。一方で、10月に15カ月ぶりに50を上回った雇用は48.4（同-4.8）と、再び50を割り込む結果となりました。

## 製造業景況感は引き続き堅調な推移を見込む

追加経済対策の遅れや先の見えない新規感染者数の増加基調、雇用指数の悪化からは足元の好調な景況感にも暗雲が漂います。一方で、次期大統領が確実視されるバイデン氏が大型の公共投資の早期実施に言及したことやワクチン開発の進展等の好材料と言えます。

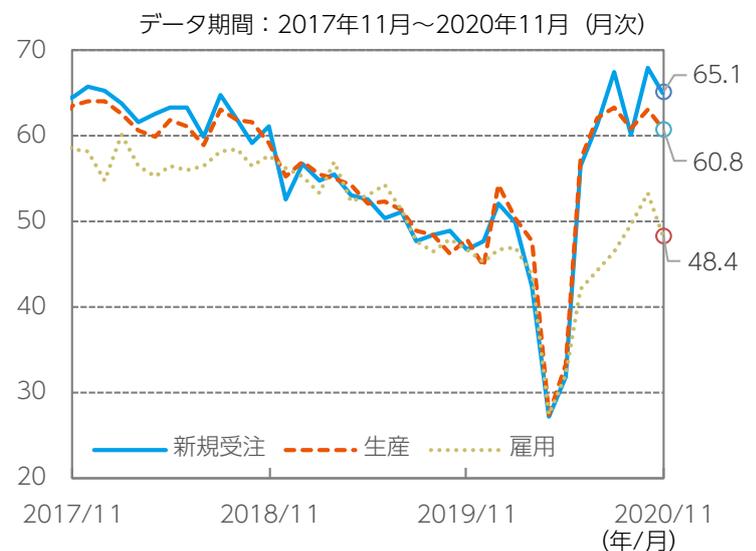
今後も新型コロナウイルス対策等を材料としつつ、製造業景況感は新規受注や生産を中心に引き続き堅調に推移することが予想されます。しかし、感染拡大等により今後雇用環境がさらに悪化するようなことがあれば、製造業の景況感が再び悪化する可能性もありそうです。

図表1：製造業景況感指数は6カ月連続で50超え



※ISM製造業景況感指数の推移

図表2：新規受注・生産が引き続き好調



※ISM製造業景況感指数（構成指数）の推移

出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>